

行政提案型協働事業概要書

事業 (テーマ)	学びの下支えによる、子どもの意見表明支援に向けた新しい実践 ～子どもの視点に立った貧困・ケアラー支援、いじめ防止等への対話的アプローチ～
提案した理由や背景(市民ニーズ)、課題等	
<p>酒田市の年間出生数が 500 人を割り込む中、本市の未来を担う子どもの貧困、ヤングケアラーといった新たな課題への対応が迫られている(後期総合計画 P67 より)。ヤングケアラー実態調査では、子ども本人の意見として「話を聞いてほしい」「勉強を教えてほしい」といった声が上位にあがっている。</p> <p>子どもの抱える課題が複合・複雑化する中で、その解決には、行政だけでなく多様な団体が協働し、取り組むことが重要となっている。</p> <p>※今回の提案は、担当指導主事及びスクールソーシャルワーカー(SSW)が全校訪問する中で、貧困やケアラーといった困難を抱えていると思われる子どもに、学びの下支えをしてほしい(学びに向かう根の力を大切に伸ばしたい)という声が上がったことを受けて、行政から事業募集をするものです。</p>	
事業内容(対象等)	
<p>上記課題を解決する取り組みについて、公益活動団体と協働しながら検討を行う。行政のネットワークを活かし、公益大等と連携することで相乗効果が一層高まる方策を実施する。</p> <p>【令和 5 年度】モデル校の選定、事業の企画、教職員研修会、 試験的实施(対話プログラム及び校内居場所活動等)</p> <p>【令和 6 年度】本格実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内居場所「ふらっとるーむ」の開催運営 (週 2 回、こもれば、公益大生対応) ・対話プログラム(RJ サークル)の実施 (1・2 年生を対象に 11 月、1 月に開催) ・学校・地域での「対話」への理解促進施策 (講師を招いてのモデル校教職員を対象にした対話ベースの事例研修会、地域向け対話プログラム講演会) ・SNS での情報発信 <p>【令和 7 年度】対話文化の促進、活動展開の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内居場所「ふらっとるーむ」の開催運営 ・対話プログラム(RJ サークル)の実施、他校への対話プログラム出前の実施 ・学校・地域での「対話」への理解促進施策 ・SNS での情報発信 	

目的・目標(数値目標等あれば)			
【目的】 ・子どもたちが安心して意見表明できるようになることを目指す(対話文化の醸成)。 ・結果として、学校が子どもたちにとって安心安全な居場所となる(副産物)。 【数値目標】 ・「相互に対話を行えている児童生徒の割合(最終年)」について、サークル実施毎に簡易アンケートを行い、対話が行えているかの指標の伸びにより効果を検証していく。			
事業期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
見込まれる 予算額	500,000円		
総合計画上の 位置づけ	【1-2】 大学・高校とともにつくる「ひと」と「まち」 —東北公益文科大学等との連携 【1-3】 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち—「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進 【4-2】 未来を担う子どもの笑顔があふれるまち —子どもの権利の擁護		
行政の 役割	・企画立案、事業運営の補助 ・ニーズの把握(モデル校の把握) ・学校との連携 ・プロジェクトの広報	団体の 役割	・企画立案、事業運営 ・プロジェクトの広報
協働により期待できる効果			
複数の主体が協働することで、より質の高い企画・実践が行える。			

担当課・係名	学校教育課 学事係		
(役職)担当者	(主事) 横山 夢月	連絡先	内線 5107 外線 (26)5776